



野網 義一 議員

凡例
 19 池田町片山井振谷6林班 林班
 既設林道
 19 池田町片山井振谷6林班 小班
 人工林
 天然林



井振谷から平成林道への道の建設はいつになるのか

林道池田明神線の善南寺コバから小寺に向かつて平成林道が建設されてきたが、途中で休止されたまま。平成林道を生かすためにも井振谷林道へ接続する林道の建設は急務。この地域には森林整備事業の計画や新堰堤の計画もある。平成27年度に調査費が行われたがその結果と今後の建設計画は。

町長

調査の結果3案に絞ったが最終決定していない。道を下から付けると新堰堤工事の後になる。用地補償関係、既存の堰堤の土砂の浚渫と林道の付け替え、本堰堤工事で4、5年掛る。6年目から利用間伐、作業道に入ると10年計画になる。逆に上から道をつける場合には幅員や勾配、人工林の面積比率、個人山の取り込みなど課題が多いが早急に進めたい。県には新堰堤関連工事を出来るだけ早く進めてもらえるよう要請する。

ふるさと納税制度を活用した給付型・無利子の奨学金を

奨学金や教育ローン借りて大学を卒業しても非正規雇用の増大で、奨学金を返済できなくなったり自己破産したり給料の差し押さえ等の事案も起きている。学生の2人に1人が将来の借金となる奨学金を利用しており、平均利用額は大学4年間で300万円にもなる。政府は、給付型奨学金創設に向けて検討を始めたが、池田町においてもふるさと納税制度を利用して将来池田町に戻って活躍してくれるという条件の中で給付型または無利子の奨学金制度を創設すべき。

町長

県では清流の国ぎこ大学生等の奨学金制度を開始された。月額3万円、無利息の貸与であるが岐阜県で5年以上働くとという条件を満たせば返還不要となる制度。町としてまず県の制度を周知したい。その上で池田町に戻って働く意欲のある人に対するさと納税制度を利用した奨学金制度の創設を検討する。

大津谷から願成寺古墳群への案内看板を

願成寺古墳群の中でも1号墳は立ったまま石室に入れることで大変感動される。その他にも魅力一杯の古墳群である。ところが、古墳群の案内看板が目につきにくい所に立っている。新年度バーベキュー施設が増設される大津谷公園側から古墳群への案内看板を設置すべき。

町長

願成寺古墳群と対岸にある櫛山古墳群を申請すれば国の指定になる地域。既存の看板も有効活用し案内看板を設置し誘導する。

霞間ヶ溪花畑予定地で古墳発見

霞間ヶ溪北の花畑予定地から多数縄文土器が出土した。また、完全に土砂に埋もれた古墳（745年に起きた美濃地方の大地震？）が2基発見され、その他にも数基古墳が埋没していることが予測される。

町長

傾斜の急な山麓で新たな古墳が発見された。池田町は山麓一帯に古墳が集積していることを周知する必要がある。



土砂に埋没した古墳、山側の石は石室内に落ちていた。(霞間ヶ溪花畑予定地)